



メーカー
管理用です。

TOTO

フロア収納キャビネット 埋込タイプ

UGLD05・ UYC08R/L・UYC09

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位は mm です。

安全上のご注意

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性
がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告



浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれがあります。



屋外および傾斜のあるような壁面、床面、振動の激しい場所に取り付けない
取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれがあります。



工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する
商品が落下したり、外れたりしてけがのおそれがあります。

商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でな
いか確認する
商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、
コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。
壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる
商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。

注意



商品に強い力や衝撃を与えない
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。



商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、
物を載せたりしない
倒れや落下によりけがのおそれがあります。

設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定
部品を使用する

取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。

推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する
取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。

商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う
商品が破損・落下してけがのおそれがあります。

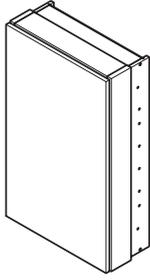
水平器を用いて水平に設置する
物が落下してけがのおそれがあります。

カットした面は滑らかに仕上げる
滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがのおそれがあります。

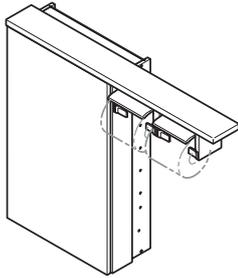
作業時は手袋、防じんマスクなど適切な安全防具を使用する
けがのおそれがあります。

商品タイプの確認

単体キャビネットタイプ(品番：UGLD05)

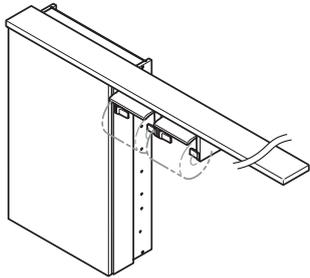


カウンタータイプ(740mm 定寸)(品番：UYC09)

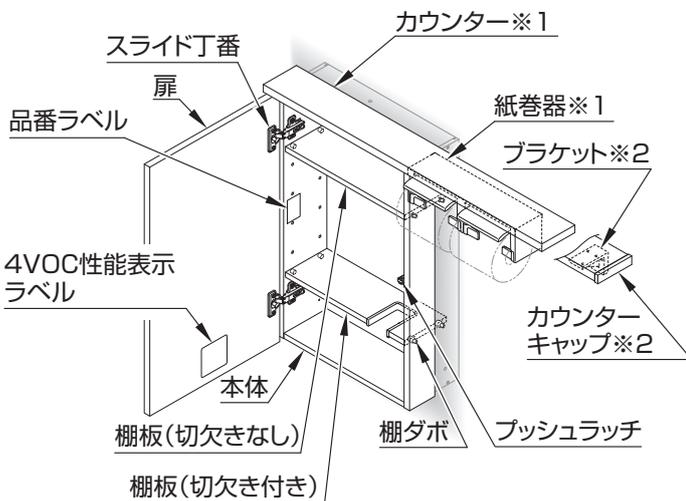


カウンタータイプ(1600mm フリーカット)(品番：UYC08R/L)

(図は UYC08L)



商品の構成

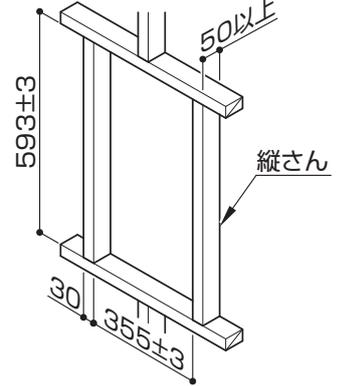


※1 カウンタータイプのみ

※2 カウンタータイプ(1600mm フリーカット)のみ

取付前のご注意

- ・商品の上下を逆にすることで、左右いずれの吊元にも対応できます。
- ・カウンターは取付位置により逆勝手となります。(1600mm フリーカットを除く)
- ・壁下地材および壁仕上げ材はキャビネット取付前に仕上げてください。
- ・商品の埋込代は 70mm です。



⚠️ 注意



必ず守る

壁仕上げ前に、タッピンねじ固定用の左右縦さんをあらかじめ設ける
取り付けが不安定になり、落下してけがをする原因となります。

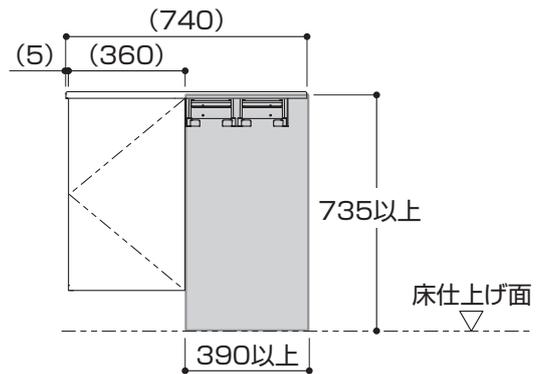
補強材位置

- ・必ず強度のある壁に取り付けてください。
- ・壁自体に強度がない場合は t12 以上の普通合板(JAS 規格品)に取り付けるか、t30 以上の補強木を設けてください。
- ・は補強材取付位置です。
- ・図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

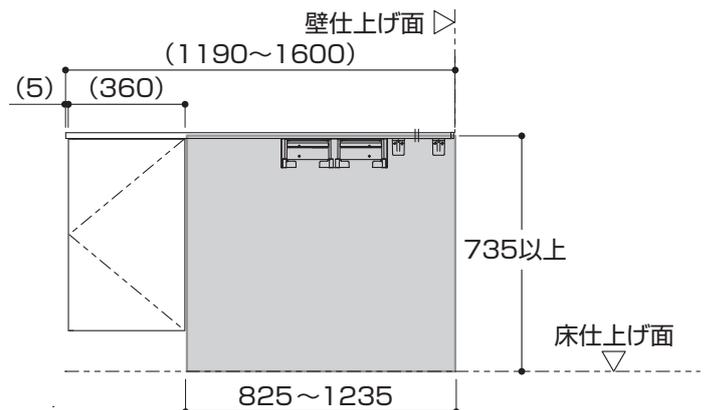
ねじ位置については下記 URL 内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejichijoho/kinejichijoho.htm>



カウンタータイプ(740mm定寸)



カウンタータイプ(1600mmフリーカット)

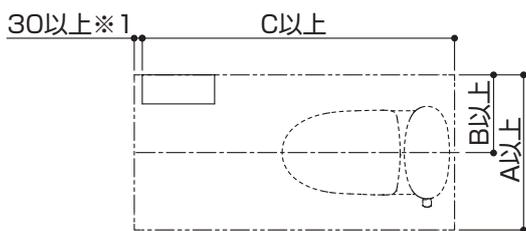


設置寸法

※便器はイメージです

・図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

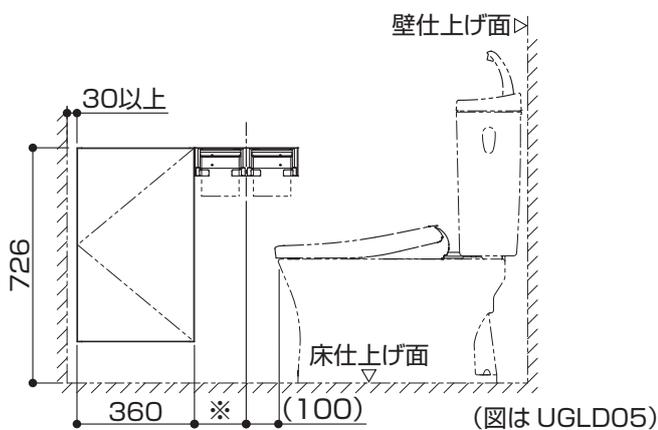
単体キャビネットタイプ



(図は UGLD05)

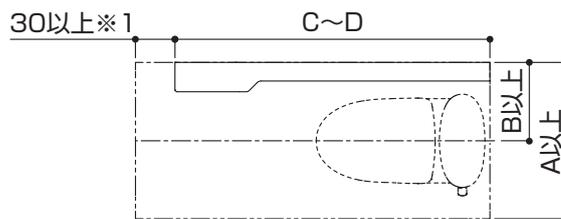
大便器	大便器前出	A	B	C
ネオレスト、 GG・ピュアレスト 壁排水リモデル以外	~760	750	390	1190
FD		755※2		
GG・ピュアレスト 壁排水リモデル ほか	793	750	390	1240
ネオレストNX	805	780		

※1 指の挟み込み防止のため、30mm 以上のすき間確保が必要です。
 ※2 FD とセットする場合は、新築は 1370mm まで、リモデルは 960mm までとなります。



※寸法は紙巻器によって異なります。

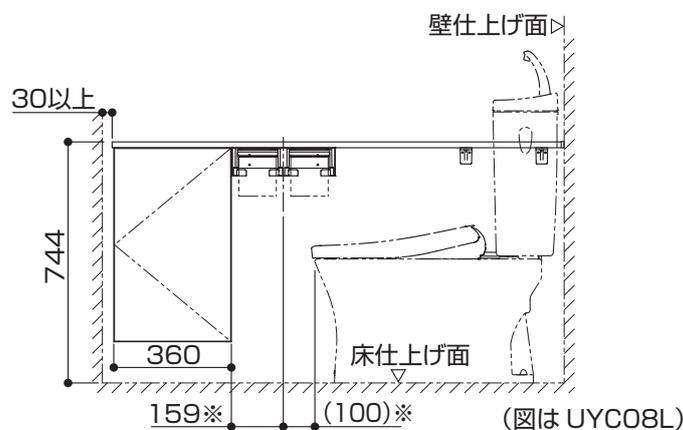
カウンタータイプ



(図は UYC08L)

大便器	大便器前出	A	B	C	D
ネオレスト、 GG・ピュアレスト 壁排水リモデル以外	~760	750	390 ※4	1190	1600
FD		755 ※2※3			
GG・ピュアレスト 壁排水リモデル ほか	793	750	390	1240	1600
ネオレストNX	805	780			

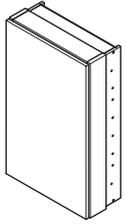
※1 指の挟み込み防止のため、30mm 以上のすき間確保が必要です。
 ※2 FD とセットする場合は、新築は 1370mm まで、リモデルは 960mm までとなります。
 ※3 1600mmフリーカットの場合、835mmからとなります。
 ※4 FDとセットする場合は、1600mmフリーカットの場合、460mmからとなります。



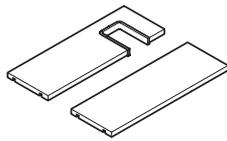
※1600mmフリーカットの場合、紙巻器の位置はカウンター長さによって異なります。

部品の確認

フロア収納キャビネット



フロア収納キャビネット
(1台)



棚板
・切欠き付き (1枚)
・切欠きなし (1枚)

施工説明書



施工説明書
(本書)



4VOC性能表示ラベル
(1枚)

※扉内側に必ずはり付け
してください。

取扱説明書



取扱説明書
(1冊)

付属材セット



棚ダボ
(8個)

ねじセット



トラスタッピンねじ
4×25 (1本)

※単体キャビネット
タイプは使用しません。

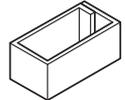


低頭タッピンねじ
4.5×30 (4本)

キャップ付
(壁固定用)

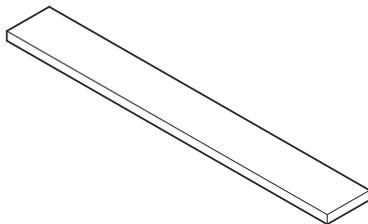


スペーサー
(16枚)



施工補助材
(段ボール)

カウンター ※カウンタータイプの場合



※タイプにより長さが異なります。

ブラケットセット ※1600mmフリーカットの場合



ブラケット
(2個)

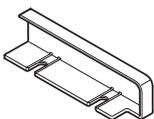


トラスタッピンねじ
4×40 (4本)



トラスタッピンねじ
4×16 (6本)

カウンターキャップセット ※1600mmフリーカットの場合



カウンターキャップ
(1個)

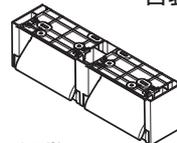
※カウンターをカットしない場合は使用しません。



トラスタッピンねじ
4×10 (2本)

紙巻器 ※カウンタータイプの場合

※ねじセットの番号は
各袋に記載の番号です。



紙巻器
(1個)



コーナースペーサー
(2個)

ねじセット①



なべタッピンねじ
4.5×40 (4本)



平座金 (4個)

ねじセット④



トラスタッピンねじ
4×14 (4本)

必要工具

・一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具をご用意ください。



電動ドライバー
・(+) $65\text{mm}\#2$ ビット
・(+) $200\text{mm}\#2$ ビット



電動ドリル
 $\phi 3\cdot\phi 5$



のこぎり



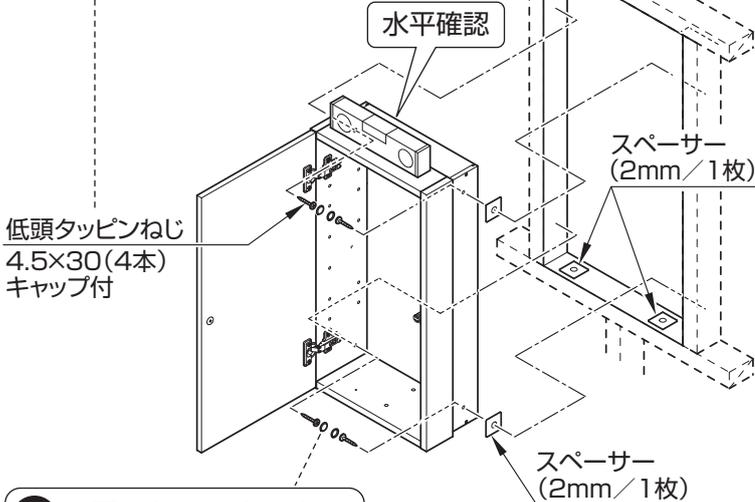
ドライバー
・(+) $65\text{mm}\#2$ ビット
・(+) $200\text{mm}\#2$ ビット

施工手順

1 キャビネット

① 壁下地材および壁仕上げ材の施工を行う

② 下穴(φ3)をあけたあと、付属のねじで確実に固定する

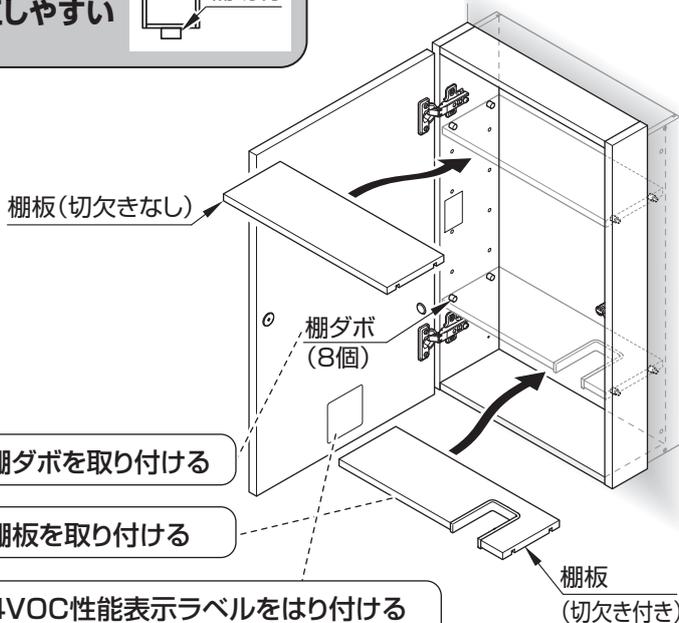


③ 付属のキャップをはめ込む

補強さんとのすき間が大きい場合は、ねじ固定部やキャビネット下にスペーサーをはり付ける
スペーサーを入れないとねじ固定時にキャビネットが変形するおそれがあります。

ポイント

施工補助材に載せると
施工しやすい



④ 棚ダボを取り付ける

⑤ 棚板を取り付ける

⑥ 4VOC性能表示ラベルをはり付ける
※図の位置を参照のうえはり付けしてください。

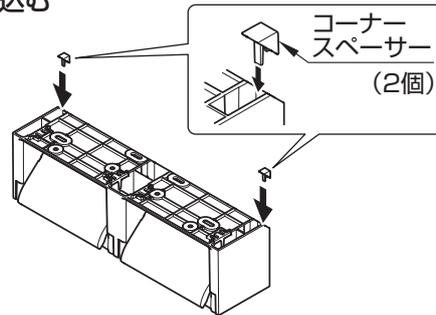
2 カウンター

カウンタータイプ(740mm定寸)の場合

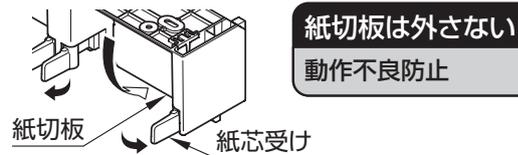
カウンターの水平について

カウンターが水平となるように、スペーサーなど(現場手配)で必ず調整してください。
壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

① 紙巻器の左右にコーナースペーサーを上側から差し込む

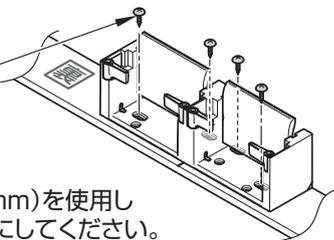


② 紙芯受けを外側に開き、紙切板を奥に倒す



③ 紙巻器を長穴中心でドライバーにて手締めで固定し、紙切板を元に戻す

ねじセット④
トラスタッピンねじ
4x14(4本)※下穴φ3

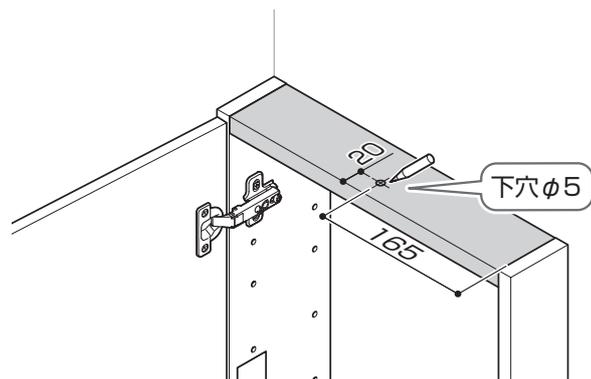


※ロングドライバー(200mm)を使用し
紙切板に当たらないようにしてください。

注意

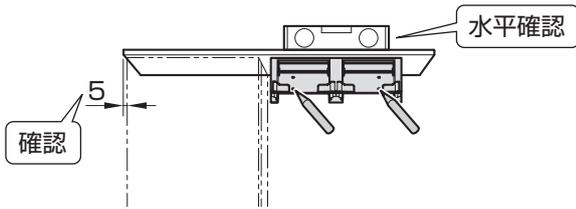
下穴の深さは5mmであける
※貫通させないこと

④ キャビネットの上面に下穴の位置をけがき、
カウンター固定用穴をあける



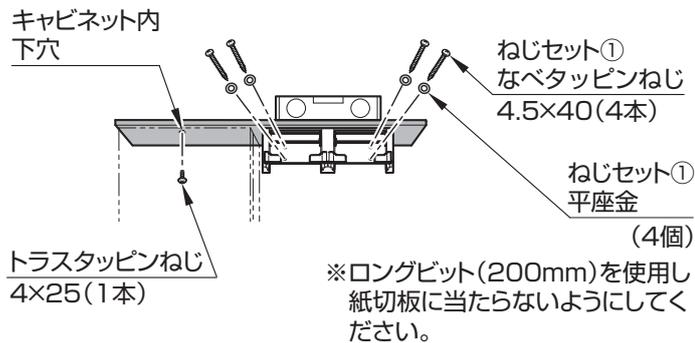
2 カウンター(つづき)

- ⑤ カウンターをキャビネットへ載せて水平確認を行い壁に紙巻器固定用下穴の位置をけがく
(カウンターはキャビネットより5mm出ます。)



- ⑥ カウンターを外し、壁に下穴(φ3)をあける

- ⑦ カウンターをドライバーにて手締めし、固定する

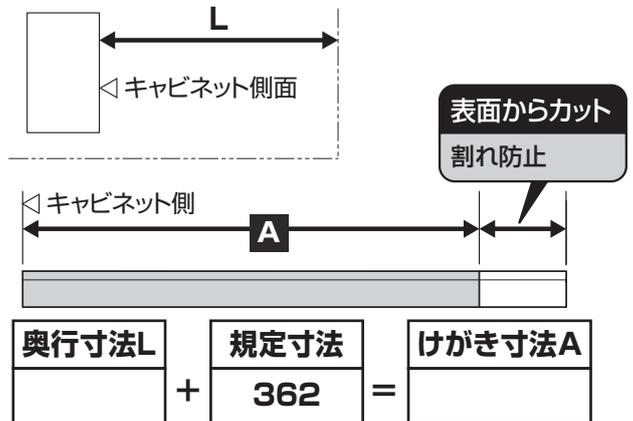


カウンタータイプ(1600mmフリーカット)の場合

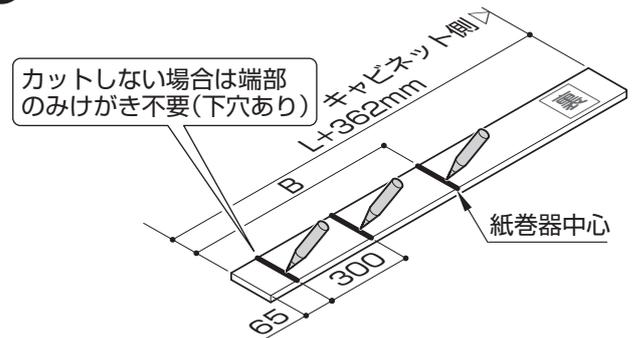
※カウンターのカットあり・なしにより手順が異なります

カウンターをカットする場合	▶P.6~7
カウンターをカットしない場合	▶P.7 ③

- ① カウンターをカットする



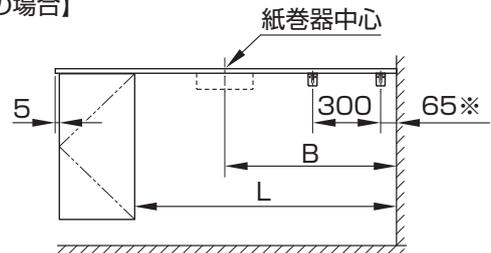
- ② ブラケットと紙巻器の中心線をけがく



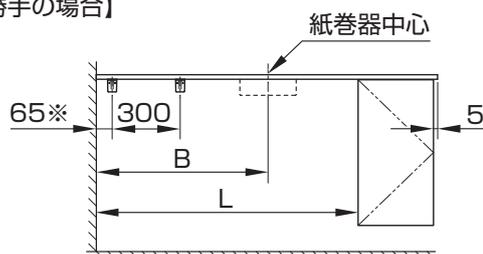
P.3「設置寸法」の図を参考に紙巻器位置Bを決めてください。

※カウンター端からの寸法(壁からの寸法ではありません)

【左勝手の場合】

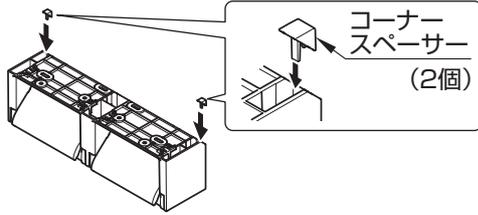


【右勝手の場合】



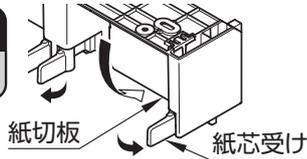
2 カウンター(つづき)

③ 紙巻器の左右にコーナースペースを上側から差し込む



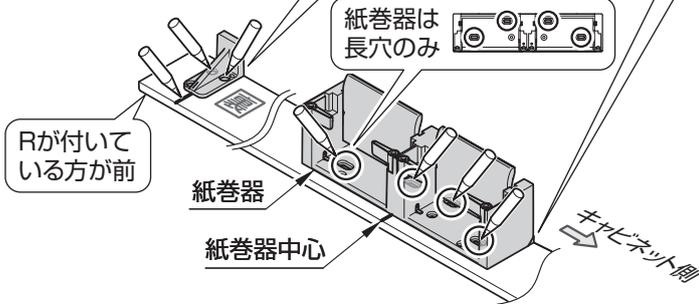
④ 紙芯受けを外側に開き、紙切板を奥に倒す

紙切板は外さない
動作不良防止

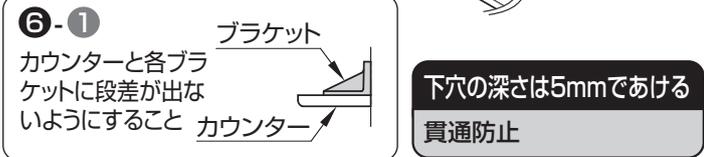
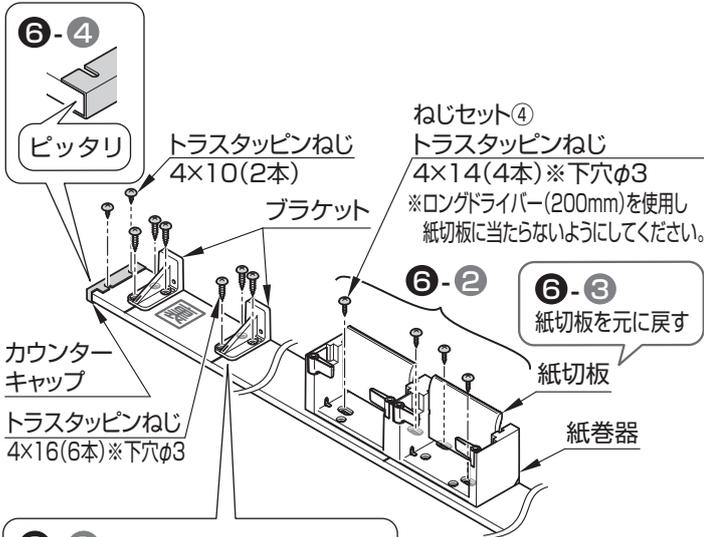


⑤ ブラケットと紙巻器をけがき線に合わせブラケットと紙巻器の下穴をけがく

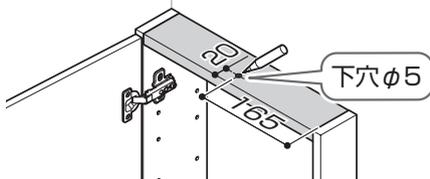
カウンターと
各ブラケット、紙巻器の
後端をあわせる



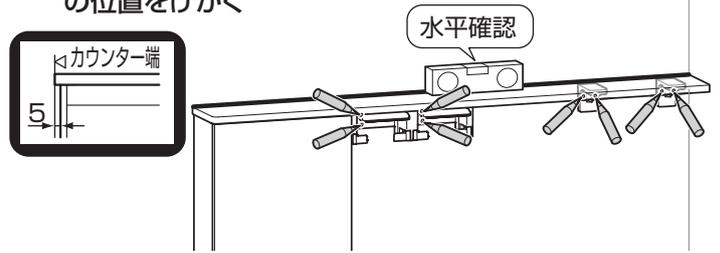
⑥ けがいた位置に、ブラケット・紙巻器を固定し、カウンターキャップをドライバーにて手締めで仮固定する



⑦ キャビネットの上面に下穴の位置をけがき、カウンター固定用穴をあける

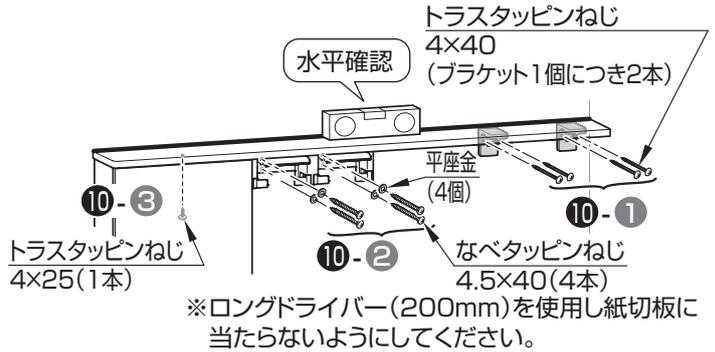


⑧ カウンターを載せて壁に紙巻器・ブラケット固定用下穴の位置をけがく

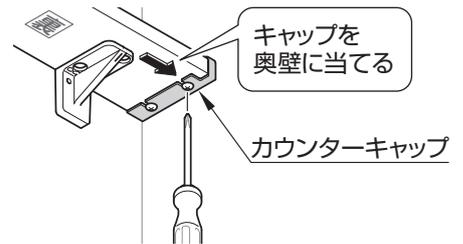


⑨ カウンターを外し、壁に下穴(φ3)をあける

⑩ カウンターをドライバーにて手締めで固定する



⑪ カウンターキャップをドライバーにて手締めで固定する

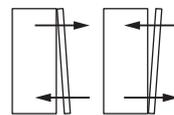


3 確認・仕上げ

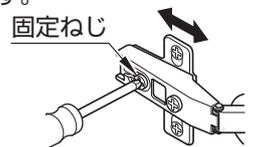
扉の調整 ※全タイプ共通

キャビネット据え付け後、扉のすき間が不均一だった場合以下の手順に従ってご自身で調整いただくか、取付店にご相談ください。なお、TOTOメンテナンス(株)においても扉調整を承っておりますが有料作業になります。

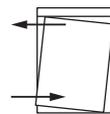
前後調整



固定ねじをゆるめて前後に調整したあと、固定ねじを締め直す。



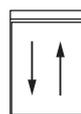
左右調整



調整ねじを回して左右の傾きを調整する。



上下調整



固定ねじをゆるめて金具を上下に調整したあと、固定ねじを締め直す。ねじを回し過ぎると、ねじがきかなくなります。

